

～9月議会定例会冒頭挨拶～（令和2年9月7日）

本日、令和2年第7回大町町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、大変お忙しい中、御参集いただき、御審議賜りますことに、厚くお礼を申し上げます。

提案理由の説明の前に、時間をいただき、行政上の近況報告を含め、ご挨拶を申し上げます。

今年も、秋雨前線そして台風シーズンを迎えました。今日も台風9号に続いて、台風10号が過ぎたばかりであります。その状況について、簡単に報告をさせて頂きたいと思っております。

まず、9月2日夜に佐賀県に最接近した台風9号につきましては、自主避難所を9月2日14時に開設し、最大で8世帯10人の方が、町の避難所である美郷の方に避難をされました。大きな被害は報告はありませんでしたが、町道4カ所で、竹、雑木が通行の妨げになっておりましたので、即刻職員が除去し対応したところであります。

また、今回の台風10号につきましては、特別警報級という事もあって、警戒レベル4「避難勧告」を発令し、町民の皆様へ安全な場所への速やかな避難を勧告

しました。

今回は町民の皆様の危機意識も高く、ピーク時は美郷、公民館、ひじり学園、3か所の避難所に207世帯、378人の方々が避難をされました。

もちろん、検温、マスク着用、消毒のうえ、パーテーション、段ボールベットを設置するなど、新型コロナウイルス感染対策を可能な限りさせて頂いたところでもあります。被害につきましては、まだ、詳細は分かっておりませんが、町道に瓦が散乱するなど、民家においても、少なからず被害が出ており、町道をふさいだ雑木等の伐採も、7~8カ所程度あり、即座に対応したところがございます。また、町内でも停電しているところもあり、急ぎ九電の方で復旧に努めていただいております。なお、避難勧告は、本日正午に解除しており、町民のケガ人等の報告はあっておりません。

大町町は昨年、秋雨前線の影響で、甚大な豪雨災害に見舞われました。あれから早くも1年が過ぎましたが、議員の皆様には、日々、被災者支援のためにご尽力をいただいておりますことに、改めて敬意と感謝を申し上げます。

忘れることができない、あの8月28日、午前5時40分。サイレン音と共に第1回目の「避難指示」を発令して、わずか6時間。広範囲にわたる家屋や、田畑(たはた)の浸水に加え、油の流出、そして頼みの排水ポンプ場の水没や、ボ

夕山の崩落。非常事態が連続する中、一人の犠牲者も出さずに済んだことは、町民の皆様の「自ら身を守る的確な避難行動」や、地域の助け合いなど、「自助」「共助」、自主防災が機能したお陰だと感謝するところでございます。

町としても、昨年の災害を、教訓とし、更なる防災力向上のため、この1年で、防災事業を増強したところでありますが、

今後も引き続き、自主防災「自助」「共助」そして「公助」、三つの力がうまく絡み合う体制の構築を目指したいと思っております。

また、未だに、公営住宅や民間アパートなどで、避難生活を強いられ、元の生活に戻れない方々がいらっしゃいます。

県との連携はもちろんですが、先日、被災者支援協力協定を締結させていただいた複数のNPO団体等の支援を頂きながら、最後までしっかりサポートしていくこととしておりますし、国の査定日程やコロナの影響等で、遅れていた一部の災害復旧事業も、コロナ過での対応指針のもと、社会経済活動も再開されており、スピード感をもって取り組んでいきます。

近隣の皆様には長くご不便、ご迷惑をおかけし、本当に申し訳なく思っております。

また、先日、上峰町、太良町との3町災害時応援協定を締結いたしました。

これは、災害時の相互応援のため、職員が少ない小さな町同士が助け合う事を

目的にしたもので、同時災害を受けにくい一定程度、距離が離れた同等規模自治体で、互いに補い合う事によって災害に立ち向かっていくこととしております。

大町町は昨年、そして太良町は今年、大きな災害を経験しています。そのスキルを活かし、更に経験を重ねることによって、職員の災害対応能力の向上にもつながり、町民を守るという責務遂行に役立つものと考えております。

それから、今年の7月豪雨で被災された人吉市に、町職員1名と、八代市には社協職員1名を災害派遣しました。兩人とも、昨年の災害時に第1線で経験を積んでおり、支援していただいた恩返しという熱い思いで、大町町を代表し現地に赴いております。

併せて、ご報告させていただきます。

.....(提案理由等、詳細につきましては、当HP町政欄議会会議録をご覧ください。)